

新環境センター整備事業の見直しについて

令和6年3月15日 環境保全課

令和5年9月策定、富津市中期収支見込み（令和6年度～令和10年度）において、「一時休止」とされた新環境センターの整備事業について、下記のとおり現時点での今後の対応を整理しました。

1 従前の構想における概要

- 令和5年6月「富津市一般廃棄物処理施設整備基本構想」（以下「構想」という。）策定。
 - ①整備候補地は新富地区の富津市クリーンセンター隣接地として検討を進める。
 - ②資源ごみ（ビン・缶・ペット）を民間委託し、不燃・粗大・直接搬入ごみは新施設で受け入れるケースを基本として、本市の実情に合った整備内容・処理方式の検討を行う。
 - ③災害廃棄物の処理も可能となることから、破砕設備の導入を検討する。
 - ④本市の現状や費用面も考慮し、現実的な選択をするために、より効果的な新施設の設備構成を引き続き検討する。
 - ⑤概算事業費は、2段破砕方式フルスペック約43.5億円～低速破砕機のみ30.9億円。
 - ⑥事業スケジュールは、令和6年度から基本設計及び各種調査、令和8年度から施設整備建設工事、令和10年度稼働予定。

2 中期収支見込みの概要

- 昨今の様々な要因による物価高騰の影響を受け、光熱費等の経常経費や普通建設事業費が大幅な増額となる試算となった。
- 物価高騰等に対応するための国庫補助金等の大幅な増額が見込まれない中、普通建設事業費の財源として、地方債（借金）の発行に頼らざるを得ない状況となり、後年度に義務的経費となる公債費が急激に増加し、将来に向けて持続可

能な行政経営が困難になることが危惧される見通しとなった。

- このため、新環境センター整備を始めとした普通建設事業は、改めて事業手法の見直しや優先順位について再検討を行い、事業を選択することで、後年度へ過大な負担を残さない収支見込みの作成に努めたことにより、本事業については、施設の整備手法や整備時期も含め、見直しすることとなった。

3 今後の対応

【新施設の検討】

- 現状の施設を補修しながら使用するには限界があり、かつ、その時期はそう遠い未来ではない。このことから、新施設の建設は、不可避であると思慮される。
- 以下の3点から、新施設建設地は、構想記載どおり、新富地区の富津市クリーンセンター隣接地を候補地とする。
 - ①現環境センター所在地は、急傾斜地崩壊危険区域基礎調査予定箇所であり、千葉県による基礎調査後に危険区域の指定がされた場合、千葉県の「廃棄物処理施設の立地等に関する基準（昭和61年4月1日制定）」における立地環境基準に抵触する。
 - ②昭和49年に建設、昭和51年の稼働開始から47年経過し、老朽化が著しい。旧耐震基準の建物。
上記理由により、同所での事業継続には現有施設の解体が必須。解体費用は、概算で1億5,570万円程度と試算。
 - ③解体作業は概ね1年程度の期間が必要。解体作業中、同所での事業継続は困難であるため、他所での事業実施が必須である。
- 構想に記載のとおり、本市の現状や費用面も考慮し、現実的な選択をするため、施設規模・設備・予算面を配慮した新施設の構成を再検討していく。
例：シンプルな建屋のみ（計量機とヤードのみ等）を先行して建設し、中・長期的なビジョンで必要だと判断される破砕機を増設するプラン等
- 目標として、10年以内（令和15年まで）に新施設整備を目指す。詳細については、今後、随時検討していく。

【当面の対応及び現有施設の維持・保全】

- 資源ごみの民間委託を、先行して進めていく。（令和7年度予定）
- 現環境センターの運営を継続するため、事業に必要な最低限度の設備補修を実施する。

例：受電設備、水道設備等

【参考】

◎解体費用試算

※令和5年度実施旧富津聖苑解体工事に係る設計書を参照。

- 火葬場解体撤去 1式 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積1936.94㎡
ダイオキシン等除去費込み

67,677,817円…①

- 外構解体 1式 7,938,661円…②

○解体工事費全体に係る火葬場本体部分+外構部分の比率

①本体解体：加圧ポンプ棟解体：外構解体

67,677,817：2,219,251：7,938,661=0.869：0.029：0.102

②火葬場本体部分の比率=0.869+0.102=0.971

- 共通仮設費 4,203,539円×0.971=4,081,636円…③

- 現場管理費 3,740,759円×0.971=3,632,277円…④

- 一般管理費等 16,578,059円×0.971=16,097,295円…⑤

- 発生材処分 29,041,914円×0.971=28,199,698円…⑥

工事価格計 127,627,384円 (①+②+③+④+⑤+⑥)

単価：65,891円/㎡

○現環境センター 鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て 2,363㎡ 敷地11,618㎡

2,363㎡×65,891円/㎡≒155,700,000円